

柳井日日新聞

発行所 柳井市金屋区 436 〒742-0022
 (株)柳井日日新聞社
 編集発行人 友座 泰
 電話 0820-22-0758
 FAX 0820-22-2775
 購読料 1ヶ月1,512円
 (郵送 1,620円)
 振替口座01550-3-005438
 《火・木・土曜日発行》

24年目の白壁火の用心

年末夜回り
 2日間開催
 地元住民や中学生ら約30人参加

柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長)は12月28、29日夜、市内古市金屋地区の白壁通りなどで、毎年恒例の「年末夜回り」



を連呼した。金屋自治会(山近俊爾会長)と共同開催。国選定の重要伝統的建造物群保存地区として、先祖から受け継いだ貴重な歴史的遺産を守ることも、住民の防火・防犯意識の高揚に努めようと、1999年(平成11年)から実施しているもので、今回で24回目を迎えた。

過去2年間は、新型コロナウイルスの影響で1日限定で行っていたが、今回は3年ぶりに2日間開催とした。初日の28日は、地元商店主や柳井中の生徒など、総勢12人が参加。午後8時からの出陣式で、木阪会長が「恒例の夜回りは今年、2日間行うが、交通事故には気を付け、しっかりと声を出して防火広報してほしい」と呼びかけた後、「火の用心、エイ、オー」の掛け声を合図に夜回りへと出発。

白壁通り東側にある尾林邸倉庫を本部に、白壁の町並み周辺と、むろやの園周辺の2コースに分かれ、参加者たちは、LED電球を灯した手提げ金魚ちょうちんを手に、拍子木を打ち鳴らし、「火の用心、マッチ一本、火事の元」「気をつけて、火事はあるの、気のゆるみ」などと連呼しながら地区内約600メートルのコースを歩いて防火を呼びかけた。なお、2日目の29日には、総勢18人が参加したが、今回の夜回りにも、昨年同様、柳井中学生徒がボランティア活動の一環として、参加を希望した7人が加わった。初日は武富蒼空君、田中晴渡君、中島悠泰君、星野由翔君(以上、1年)が、2日目は三浦涼香さん、中重夏音さん、中上汐音さん(以上、2年)が、住民と一緒に火の用心を呼びかけた。(写真は白壁の町並みであった初日28日の出陣式で掛け声をかける住民や中学生たち)

のべ128人の生徒が街頭募金の

柳井市古開作、県立柳井高校(浅原正和校長、396人)の生徒有志が、赤い羽根共同募金運動の一環として、市内の大型量販店とスーパーで歳末たすけあい街頭募金活動を実施。12月23日、いずれも2年生で生徒会長の小野紗知子さん、同副会長の吉本敦哉君、ボランティア推進委員会の米津悠里さん、同副委員長の濱田果林さんの4人が集まった募金16万1000円を来校した市社会福祉協議会の吉山夕佳里事務局長に手渡した。

今回の街頭募金には、生徒会の呼びかけに、軟式野球部や卓球部、バスケット部、バレー部、テニス部、弓道部、美術部、

地区内歩き、「火の用心」

余田小 5・6年生が防火パトロール

柳井市立余田小学(坂本総一校長、60人)の5、6年生25人で組



竹曲部 2年生 協力。 街頭 20日 坂店3 クス柳 ツクス パーの 央店の 生徒た ごとに 4時過 入り口 立つて立 末助け などと た、ボ 委員会 校内募 徒や教